



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB -- CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2009~2010)

- ・国際協会会長 『The Power of One』 「一つとなる力」
Kevin Comming (Canada カダ)
- ・アジア地域会長 『The Power of One』 「一つとなる力」
スローガン 「Dreaming Asia, Loving Asia」
「夢見るアジア、愛するアジア」
Chon Byung-Koo (Korea)
- ・西日本区理事 『すべてのいのちを大切に」
「Love & Care for All the Living Things」
-いのち・平和・環境- -Life, Peace, Environment
鈴木 誠也 (神戸ポートワイズメンズクラブ)
- ・六甲部 部長 『希望の^{ほしび}灯 となろう』 「Be the Light of Hope」
大田 厚三郎 (神戸西クラブ) - 地域社会を励ます活動を実践しよう -

2010年5月
744号 60周年
63期-11号
since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員	
会 長	浅野 純一
直前会長	濱 浩一
副会長(次)	馬場 一郎
副 会 長	岩田 健司
書 記	廣瀬 一雄
書 記	岡田 佑一郎
会 計	山本 常雄
会 計	足立 康幸
監 事	阪根 新
監 事	小野 勲紘
担当主事	三島 浩司
六甲部代議員	山口 政紀
部メネット主査	浜美智子
区事務局員	小野 勲紘

2010年5月 西日本区強調ポイント“LT” 「ワイズ読本」を活用して、クラブ内新入会員及び新たな役職につく会員への的確な研修を持ちましょう。研修し合うことから新たな学びが与えられます。(鈴木 理事)

2010年5月第1例会のご案内	
日時:	2010年5月14日(金) 19時~21時
場所:	西宮YMCA保育園3F
ドライバー:	馬場貴英メン 廣瀬一雄メン
1. 開会点鐘	浅野会長
2. ワイズソング	一同
3. 聖句朗読	
4. ゲスト紹介	浅野会長
5. 食前の感謝&会食	
6. スピーチ 馬場貴英メン *パナソニック(株)に勤務	
「環境技術(Eco 技術)開発の現状」について	
7. 誕生日のお祝い	ドライバー
8. Y's ニュース・お知らせ	浅野会長
9. YMCA 報告	三島主事
10. 閉会点鐘	浅野会長

『一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜びのです。あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。』 コリントの信徒への手紙一 12章 26~27節
清水 彬久メン 選

4月 例会出席状況	在籍会員数	19名
第1例会(4.16金)	第2例会(4.2金)	
メン 17名	メン	12名
メネット1名ゲスト4名	メネット	0名
合計22名 (出席率94.7%)	合計	12名

Happy Birthday To You
お誕生日おめでとうございます
4日 足立 康幸 メン
7日 馬場(一郎)季公子 メネット
8日 堤 一幸 メン 30日 馬場 貴英 メン

【今月の言葉】 『LT』
Leadership Training リーダーシップ トレーニング
ご覧ください。URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

会長メッセージ 浅野純一会長

4月14日、中国の青海省で地震が発生しました。ここは、おもにチベット人の居住区です。私たちもハイチ、チリ地震と同様に少しでも支援のお手伝いを考えていますが、中国YMC Aも中国政府の意向に反した活動は行えないようで、私たちも動くことができないのは残念なことです。とくに人的な支援への要請を中国政府は行うことに消極的な様子です。報道についても、2年前の四川大地震に比べてかなり少なく、最近ではほとんど報じられていません。日本での支援活動も赤十字などでは募金活動を行っていますが、多くを聞きません。チベットはとくに中国政府から弾圧を受けただけに、被災された方がどのような状況にあるのかが心配で胸が痛みます。

いよいよワイズメンズクラブの活動も年度末が近づいてきました。会長職も取り敢えずは、後2ヶ月で終わります。結構忙しい思いもしましたが、何をやったのかと問われれば、自信をもってこうであると言えるものはないのが現状です。残念なことは、この1年でメンバーが減少したことです。メンバーを増やさなければと思ってはいたのですが、なかなか難しいことです。ただ、会長を執り行ったことで、ワイズのことが少しは理解できたのではと思っています。あと、2ヶ月よろしくお願いします。

4月例会報告

ドライバー 足立 康幸メン 岡田 佑一郎メン

4月16日、毎年恒例のYMC A職員歓送迎会が西宮YMC Aの近くの金豚本舗夙川店で開催されました。お世話になった小寺さんが西神戸YMC Aに移られ、所要で欠席されましたが4月より西宮YMC Aに着任されました山根館長のもとで、岡山YMC Aに出向しておられた大塚雅人さんと、新入の西野みどりさんが新しくスタッフとして着任されました。それぞれに抱負を語っていただき、皆様の活躍に期待を込めて拍手で歓迎をいた

しました。西宮YMC A保育園で4月よりお働きになる門脇加奈さんが欠席されたのが少し残念でした。

しゃぶしゃぶに舌鼓を打ちながら、3月12日から25日までの第27回タイワークキャンプに参加された報告を西宮YMC Aコースボランティアリーダーの山下由貴さんより聞き、海外の若者や地域の人々との交流を通し視野を広げていく若者の支援を今後も継続していくことを改めて確認いたしました。小寺さんの結婚しますの報告や、山本メンのブラジル旅行の楽しかったお話を伺い、お誕生日のお祝い等で少し時間超過でしたがなごやかに例会を終えることができました。

少し遅れた方もありましたが、参加者はゲストを含めて22名でした。(岡田 佑一郎メン)

西日本区だより-13

小野勅紘西日本区理事事務局スタッフ

「折りづるラン」第4便



近江富士大橋を渡る折りづるランナーたち



近江八幡クラブ他びわこ部の皆さんと

西日本区便りもいよいよ大詰めになってきました。活動期間は今月5月と6月の2か月を残すところとなりました。準備期間を合わせて2年に及ぶ長丁場になりましたが、実際はこの2か月が最も濃厚な期間でしょう。

といいますのはご存知のように西日本区大会を残しているからで、しかも今年は京都大会以来日

本国内で開催されるのが22年ぶりという横浜国際大会も続いてあります。

さて、その2大イベントですが、広島西日本区大会は例年の通り3月31日の第1次締切で約100名以上の駆け込み登録があり、おかげ様で目標の700名を越えることが出来ました。

一方横浜国際大会はまだ開催がその2か月後ということもありますが、これは4月30日の第1次締切で、今一步出遅れて目標の600名に対してようやく50%の300名を超えたところ。傾向として、両大会に平均して送り込んでいるクラブは少なく、どちらか一方、出来るなら金額の少なくて直近の広島に偏っています。

これはいたし方のないところですが、ここは22年ぶりの国際大会ということと、ご存知のようにこの5月から、5年毎にニューヨークで、NPT(核拡散防止条約)再検討会議が開催されて、唯一の被爆国である日本としては核抜きを訴えるまさに当時国でもあるからです。

時を同じくして広島で全員で折った千羽鶴を搭載した「折りづるみこし」を、そのまま横浜国際大会に持ち込み、今期西日本区理事のテーマでもある「全てのいのちを大切に いのち・平和・環境」を訴える絶好の機会でもあります。

その象徴とも言える阪神淡路大震災15周年の1月17日に「折りづるランナー」である大野勉ランナーが東西にスタートしました。これまでランは順調に歩を進め、西は松永(広島県)まで、東は近江八幡(滋賀県)まで到達しています。この5月23日には広島YMCAにゴールし、6月12日の西日本区大会に備えています。

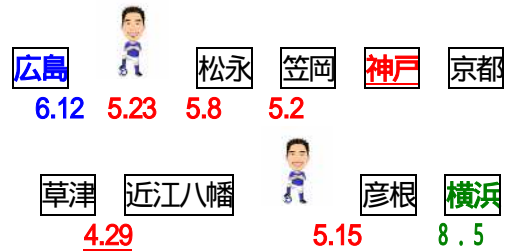
その1週間前の6月5日(土)には西宮クラブの濱美智子メネット主査により、六甲部合同メネット会が東灘区住吉駅前の「コンパス」で計画されており、歌手エミーさんを迎えて開催の予定です。皆様是非お越し下さい。

また広島西日本区大会の2日目では当番幹事の広島クラブの皆さんが第6回3クラブ合同例会を準備されています。広島に横浜にご一緒に参りましょう。

私は韓国の釜山で開催された第67回国際大会に初めて参加した経験では、西日本区大会や国際大会に参加して寝食を共にしてみても、本当の親睦があると思います。本当に親しくさせていただいた方々はこういった大会で得た友人達です。皆さん

も今後いずれかの大会にぜひ参加いただくと有効ではないかと思えます。さあ今すぐ多額の登録費を出せと言われても大変ですから、そのために普段から積み立てをしておくといいたいと思えます。

折りづるランナー(大野勉)の行程



西日本区大会と国際大会への登録を!

西宮YMCA保育園だより

三島 浩司メン(保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより4月号より)

4月の主題: 希望 ~愛の中を生きる~

17年前のこの季節、週に何度か病院から職場へ出勤していました。癌の末期で入院していた父親に付き添うためでした。「企業戦士」「猛烈サラリーマン」そのものであった父との楽しい思い出は限られたものでしたが、自らの最期を目前にした父が、ある日、母に「浩司が交通事故を起こして困っているから、お金を届けてやれ。」といったそうです。そのような事実はなかったのですが「親の愛」から発せられた言葉だと思えます。

その父の葬儀の最後に、私は悲しみではなく、感激の涙を流していました。学生時代に共にリーダーとして活動した先輩(実際に共に活動したのは僅か1年間だけでしたが)が励ましに来てくださっていたのです。平日の昼間であったにもかかわらず、仕事の調整をして遠方から駆けつけてくださったのです。この「友の愛」の大きさ、深さを感じ涙が溢れてきたのを今でも鮮明に覚えています。

今、毎日のように幼い子どもの「いのち」が脅かされるような虐待やいじめに関するニュースが報道されています。このようなニュースを見聞きする度に心を引き裂かれるような悲しみや憤りを感じます。神様は、このような私たち人間の罪のあがないとして十字架に掛けられるために、ひとり子であるイエス様を私たちのもとに遣わしてくださいました。イエス様は神の愛そのものです。幼い子どもたちが、そして、全ての人が「親の愛」「友の愛」、そして「神の愛」の中にあることを覚え、いつも希望を持ち続けることができるようにと祈りつつ、新しい一年の歩みをはじめたいと思えます。

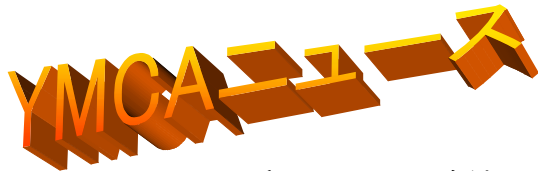
年主題聖句: 主よ、あなたはわたしの希望。

(旧約聖書 詩篇71:5)

リーダー会だより

あだち なつみ
西宮・宝塚YMCAリーダー会 足立 夏海さん

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。
幼児さんのエルマー、小学生のピーターパン・ロビンフッド・トムソーヤ...と4つのセクションに分かれている野外活動の2010年度初めての活動を、無事に迎えることができました。私は4月18日にロビンフッドの例会で甲山へと行ってきました。桜も散り、鮮やかな緑の木々に包まれた自然の中で、仲間と協力しながら木にロープをかけ、自分たちでブランコを作り上げたり、広い甲山の頂上でおにごっこや木登りをしたり...。初めての野外活動、初めて会うグループのお友だちにドキドキしながらも、お友だちやリーダーと思いきり遊ぶメンバーの笑顔はのびのびとしていて本当に楽しそうでした。今年度のリーダー会は『生き生き輝け！西宮YMCA』を年間目標として、例年以上に元気よく、いきいき活発に活動して行こうと思っています。そしてリーダー会だけではなく、いきいき自分らしく輝いている子どもたちの姿をたくさん見つけていきたい！共に寄り添って歩みたい！そんな気持ちで動き出した私たちです。たくさんのお友だちの笑顔のためにリーダー会一同、力を合わせて活動していこうと思いますので、これからもご支援よろしくお願い致します。



西宮YMCA 三島浩司メン

西宮YMCAではこの4月、新しいスタッフや講師、メンバーを迎え、野外活動やサッカー、サポート、アトリエなどのプログラムがスタートしました。また、これまでの用海に加え、浜脇の留守家庭児童育成センターの運営もスタートしています。5月には、サポートの各クラスに新しいメンバーが加わります。西宮YMCA保育園でも3月に送り出した18名の卒園児に変わり、15名の新入園児を迎えて新しい1年のスタートを切っています。それぞれの活動が子ども達や保護者の方々、また地域の方々にとって実り多いものとなるよう、そして、全ての人々の命の輝きに繋がることを願って、一步一步、しっかり土地に足をつけた歩みを始めています。ワイズメンズクラブの皆様もこの歩みにご支援、ご協力くださいますようよろしくお願い致します。

1. 新年度の活動スタート

4月1日、今年度の活動が、YMCA保育園、西神戸YMCA保育園、西宮YMCA保育園と3つの保育園の入園式からスタートしました。その後、専門学校、日本語学科、高等学院の入学式では、それぞれ数年間の学びをYMCAで為そうとする若い学生の皆さんを迎えました。今年は残念ながら学生減のために学園都市の日本語学校での入学式を行うことができませんでしたが、それぞれに目標数に近い学生を獲得することができ、入学式を行うことができました。また、4月9日には学校法人の神戸YMCAちとせ幼稚園で、12日には西神戸YMCA幼稚園でも入園式が行われました。その他、各プログラムにおいても開始のセレモニーがおこなわれ、それぞれにスタートが切られていきました。YMCAでより良い一年を過ごして下さることをお祈りしています。

2. イースター早天礼拝開催

4月4日、午前7時より三宮の東遊園地でイースターの早天礼拝開催されました。これは神戸YWCAと共催して、大正11年(1922年)から続く歴史を持つプログラムです。今年は晴天ながら大変寒い朝にもかかわらず、130名を越す多くの会員、職員が集り、豊かな時をもつことができました。今年には日本キリスト教団神戸北教会の藤原寛人牧師が「死の先に何を見る」と題して説教をしてくださりました。礼拝の後は恒例のいもがゆとイースターエッグで冷えた身体を温めることができました。この数年、100名を越える多くの参加者を得るイースターですが、前述の90年ほど前の第1回イースターでは、諏訪山金星台に「市内各教会及び男女学生有志の方々の参加を得て400人のコーラスを組織した」と記録にありました。比喩にならないくらい多くの若者に溢れたイースターであったことが想像できます。

イースターのこの良き日に、永井道子さん(国際・奉仕センター)が日本基督教団東神戸教会において受洗されました。また守屋亜紀さん(元YMCA保育園保育士、現ちとせ幼稚園非常勤教諭)が日本基督教団西神戸教会で信仰告白をされ(幼児受洗)、キリスト者となりました。

3. マザー・テレサ生誕100年記念写真展開幕

3月25日から4月8日まで、実行委員会が主催し、神戸YMCAが事務局を担当した標記の写真展が開

催され、多くの感動を残して閉幕しました。これは、現在カトリック六甲教会の司祭である片柳弘史神父がマザーの生前にボランティアとして共に働かれていた時に撮りためた写真を、マザー・テレサ生誕100年を記念して展示されたものでした。毎日、ミニ講演と称して、マザーに関連したお話をそれぞれに関係を持つ方々がお話しになり、それが加えて大きな感動を呼びました。片柳神父は毎日のように特別のミニ講演をされ、どうしてカルカタにボランティアに行ったのか、どうして写真を撮ることが許されたのか、どうして神父になる決心をしたのか、どうして写真展を開催することになったのか、などを詳しくお話しされました。期間中、5000人弱の来場者があり、それぞれに感動したことを来場ノートに記載しておられました。

4. 第22回チャリティゴルフ開催

4月22日、三田市の千刈ゴルフ倶楽部において、第22回のチャリティゴルフ大会が会員活動委員会の主催で開催されました。あいにくの天候で朝から大粒の雨が降り、冷たく寒い一日でしたが、それでも55名の方々が参加して下さりプレイを楽しみ、青少年指導者基金に多くの募金を捧げて下さいました。当日は朝からの雨ということで、数名のキャンセルも出ましたが、キャンセルの方も募金だけはしてくださるシステムになっており、多くの募金が捧げられたことに感謝します。

5. 全国YMCA総主事の交代

この4月から、全国の4つのYMCAで総主事が交替しています。

福岡YMCA

上久保昭二総主事(広島YMCAへ)

向谷 章 総主事(大阪YMCAより)

広島YMCA

下坊 和幸総主事(退任)

上久保昭二総主事(福岡YMCAより)

山梨YMCA

大和田浩二総主事(同盟:東山荘所長へ)

露木 淳司総主事(横浜YMCAより)

栃木YMCA

菅谷 淳 総主事(東京YMCAへ)

秋田 正人総主事(東京YMCAより)

6. 今後の予定

1) 創立記念日礼拝

今年は124周年。125周年を来年に控えて東京から坂口順治先生をお招きして礼拝のときを持ちます。是非、ご出席ください。

日時: 5月8日(土) 17:00~18:30

場所: 神戸YMCA チャペル

メッセージ: 坂口順治さん

(東京YMCA名誉会員、元立教

大学教授、元平安女学院大学学長)

奨励題: YMCAの歴史を支えてきたもの~
YMCA運動史編集から見たもの~

2) 2010年度定期総会

日時: 5月28日(金) 18:30~20:30

場所: 神戸YMCA チャペル

3) 神戸YMCAちとせ幼稚園バザー

日時: 5月29日(土) 11:00~15:00

場所: ちとせ幼稚園

4) 宝塚YMCAミニバザー

日時: 5月29日(土) 11:00~14:00

場所: 阪急逆瀬川駅アピア3

5) 第25回午餐会

3月のマザー・テレサ写真展でマザーの写真撮られた片柳弘史神父をお招きし、マザー・テレサのお話を伺います。写真展をご覧になった方々も、また見逃された方々も奮ってご参加ください。

日時: 7月10日(土) 12:00~14:00

場所: 神戸YMCA 4階 サイコー亭

テーマ: 「マザー・テレサは生きている

~小さなことに愛を込めて~」

講師: 片柳弘史さん(カトリック六甲教会神父)

会費: 1,500円(今年度から変更しています。)

*お申込は前もって、本部事務局までご連絡ください。

ワイズニュース

浅野純一会長

5月27日(木) 京都トゥービークラブ、新

クラブの設立総会

式 メネット会行事「Afternoon Jazz Concert」

出演 Emyさん

日時 6月5日(土) 15:30~17:10

場所 イタリアンダイニングコンパス 国道

2号線東灘警察向かい 阪神御影駅北徒歩4~5分

会費 2,000円 主旨 ハイチへの地震募金

水の流れるままに29

(俳句) 山野 直行(小野勅紘)

・花は河岸(かし) 押して押されて 通り抜け

(恒例の造幣局の通り抜け。例年にも増して人出は多い。ゆっくり鑑賞する暇はなく、自然と押される。考えてみると自分も押していた。やはり花は河岸(かし-他岸)からゆっくり見るのが一番であろうか。)

・菜の花で 一面上下 真黄々(まっきっき)

(3年前の3クラブ合同例会。西宮幹事で今は亡き堀川吉彦氏が有馬行きを企画。エクスカッションで加西フラワーセンターに行った。当時も5月菜の花が一面に咲き誇る。花については饒舌な堀川氏。寝転んでみたらと思うが、上下面全部真黄々かも。当時は懐かしく思う。)

・菜の花や 幽(かそ)けき野辺に 棚引きて

(菜の花が野辺一面に満開。遠くを見るとそこはぼんやりとして霞んでい。菜の花の絨毯は目にもまばゆい。)[注]幽けき:かすかな、ほのか

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理 事 通 信



(5月号より抜粋加工しております)

理事主題 -すべてのいのちを大切に- “Love & Care All Living Things”

第13代西日本区理事 鈴木 誠也

桜の花見が長い期間できました。4月は寒い日が続きましたが、5月のゴールデンウィークは暖かく迎えられるのでしょうか？野菜の高騰と米軍基地問題が大きな話題ですが、神様から与えられた大切な地球環境は、CO₂他多くの破壊行動で瀕死の重傷です。大雨、洪水、大地震等異常気象が警告しています。

「すべてのいのちを大切に」広島西日本区大会での「平和の祈り」と横浜国際大会での「環境の願い」が、いよいよ今期の集大成となります。

4月10日、11日と「西日本区第3回役員会と・第1回準備役員会」が、平行して開催されました。

今期も後2カ月となりましたが、理事テーマ「すべてのいのちを大切に いのち・平和・環境」が、核兵器廃絶から世界の平和を作り出す一助になれば素晴らしいことです。部長報告、事業主任

報告と表彰が最後の花を飾ります。また、会員増強の最後のチャンスです。メンバー2000名を目指すEMCは一進一退を続けています。増やす努力以上に減らさない努力をお願いいたします。京都トゥービークラブが、新クラブの設立総会を5月27日に予定しています。これに続くエクステンションを期待いたします。

さて、広島西日本区大会と横浜国際大会への登録はお済みでしょうか？今回は4月30日付け状況をお届けします。どうか少しでも早い登録を、すべての会員へお勧め下さるようお願いいたします。当然参加されるであろうと思われる方やクラブからの登録の無いところが、まだあるようです。

5月は、6月の第4回役員会、年次代議員会、西日本区大会の準備期間と共に、次期への継続引き継ぎ期間でもあります。クラブ会長はじめ、部長、主査、主任他、役員の方々は正確な引き継ぎをお願いいたします。

「すべてのいのちを大切に」弱い立場にある人々を覚えて「祈り、励ます」国際協力募金やEF・JWFファンドにも目を向けて頂くようお願いいたします。

『嬉しい出来事、楽しい思い出にEF・JWFを捧げましょう！』

「6月は広島で、8月は横浜で、逢いましょう！」



トピックス・とびくす24

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、環境省が平成19年3月に発行した“動物の保護及び管理に関する法律のあらまし”という小冊子から前回までの「動物の保護及び管理に関する法律」とは、に続いて紹介しましょう。

4 動物取扱業の規制

1 規制を受ける業種

業として、動物の販売、保管、貸出し、訓練、展示を行う場合は、業を始めるに当たって登録をしなければなりません。インターネットなどを利用した代理販売やペットのシッター、出張訓練などのように、動物又は飼養施設がない場合も規制の対象になります。

実験動物・産業動物を除く、哺乳類、鳥類、爬虫類が対象です。

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

さる4月29日の昭和の日に大阪西クラブの石合昭子さんのお誘いで、三田市木器(こうづき)にある田中和人さんの工房にいってきました。新緑の最高の天候のなか、この会は大阪西の恒例の催しで、昨年はメネットと寄せていただきましたが今回は西宮から一人参加。

木器窯は石合さんの亡くなられたご主人の高校・大学の先輩が窯元をされているところで、三田のちょっと奥まったところ。近くには伊丹市の野外施設がある田園風景豊かなところ。

成瀬会長の開会挨拶、ワイズソング斉唱、窯元紹介、加茂神戸西クラブ会長の乾杯で楽しい食事会が始まりました。三田牛のパーベキューでおなか一杯にしながらいワイワイガヤガヤとどかなカントリーでのひと時をすごしました。

東京西からも多数の参加がありましたが、今回は京都ウエストが周年行事を控えているため、参加をひかえておこう・ということでした。

湯浅メンに集合写真を八重桜の前で撮っていただきましたが、桜の花も丁度今回は満開で、今年の今日は既に葉桜寸前でしたので、今年の異常気象を感じたものでした。



基調講演は環境ジャーナリスト!

横浜国際大会のテーマは「環境」。キーノートスピーカーはそのテーマに相応しく、環境ジャーナリスト・翻訳家として、環境を軸としたマルチな活動を展開されている、枝廣淳子氏です。

枝廣さんは、1962年生まれの46才。アル・ゴア元副大統領の著書「不都合な真実」の訳者としても知られている他、首相の「地球温暖化問題に関する懇談会」のメンバーやスイス国際サステナビリティ・イノベーション評議会評議員などを務められています。

ウェブサイト上でも、地球温暖化に関わる世界の最新情報をお届けする『日刊温暖化新聞』やメールマガジンの発行などで啓発活動を展開しています。日本から世界のワイズメンに向けて発信するメッセージが今から楽しみです。

